

経営が **NPO 法人くにたち農園の会** に変わってから

認定こども園 国立富士見台団地 風の子に

深刻なトラブルが起きています！

2025 年 3 月末 当時

園長先生が不当に懲戒解雇されました

職員、保護者、子どもたち、地域住民の多数の反対の声は無視されました。

多くの保育士・職員が精神を追い詰められています

理事からパワハラ的な発言を繰り返され、事実無根の虐待の疑惑をかけられ…
大切にしてきた保育の根幹を踏みにじられて、尊厳を持って働くことが出来なくなりました。

**58年間 続いてきた
子どもたちと地域の人々の居場所を
取り戻したい**

てつなぎ保育 風の子を支える会
(風の子 保護者 保育士・職員 OBOG 地域住民有志)

大半の園児が退園せざるをえなくなりました

大好きだった風の子に最後まで通いたいと願っていました。
しかし、在園児 33 名のうち 21 名が登園拒否の後、やむをえず退園せざるをえなくなりました。

**園舎に通えなくなってしまった子どもたちを自主保育しながら
ストライキ、団体交渉、裁判などによりトラブルの解決を目指して活動しています。**

活動へのご支援・ご協力をお願いいたします

私たちは「風の子」の園舎に通えなくなってしまった子どもたちを自主保育をしながら、NPO 法人くにたち農園の会とのトラブル解決を目指して活動しています。皆さまからのご寄付は、本会の活動および、保育の維持に活用させていただきます。一口 1000 円から少額でもご協力いただくと大変ありがたく思います。

皆様のご支援・ご協力、何卒よろしくお願いいたします。

「てつなぎ保育 風の子を支える会」共同代表 外池・横田・砂畑

お振込み頂いた際には領収書を発行いたしますので下記アドレスまでご一報ください。

■振込先：多摩信用金庫 国立支店(普)4032307 全国一般三多摩労働組合 風の子分会 分会長 瀬上幸子

■連絡先：kunitachifujimidai.kazenoko@gmail.com

■HP：<https://www.kunitachifujimidai-kazenoko.com/>



(活動報告ホームページ)

「風の子」のこれまで



1967年 国立富士見台団地幼児教室 設立

団地自治会が母体となって設立されました。保育士と保護者、地域の人たちが子育てのパートナーとして対等の関係で話し合い、保育計画から予算管理まで全てを一緒に作り上げてきました。

(2004年から名称が「国立富士見台団地幼児教室 風の子」となりました。)

2018年 幼児教育・保育料の無償化

国の無償化政策の対象になるために認可園への移行を目指しました。

NPO 法人くにたち農園の会が運営母体となり

2020年 認定こども園 国立富士見台団地 風の子 開園

農園の会からは、法人傘下に入っても「幼児教室 風の子」の保育理念や文化を尊重して受け継ぎ、運営の独自性・独立性が守られることが約束されました。

しかし、その約束は裏切られ、パワハラ的な保育の否定が繰り返されたり、運営に異議を唱えた園長先生の不当な懲戒解雇が強行されるなど深刻な問題が続いています。

コミュニティ崩壊の危機

「風の子」は国立富士見台団地で50年以上にわたり、子どもを真ん中に保護者と職員が手を携え、地域の中で保育を行ってきました。在園児だけでなく、卒園児、卒園保護者、自治会にとってもかけがえのない居場所であり、心の拠り所でした。4月以降、全く違う園になってしまった「風の子」を見るのが辛く、保護者も職員もこども園の近くに行くことさえ難しい状況に追い込まれています。地域に根差し、地域の問題を解決していくはずのNPO法人が、地域の大切な居場所を奪い、長年にわたるコミュニティを壊していいのでしょうか？

行き場を失った子どもたちを自主保育で支えています



保護者・職員・子どもたち・地域の声を無視した園長先生の懲戒解雇により、保育士の半数以上が退職。現在5名の職員が農園の会に対し、元園長の懲戒解雇撤回などを求めてストライキを行っています。農園の会に対して不信感を持った保護者の多くは子どもを風の子に通わせることが困難になり、在園児33名のうち21名が登園拒否の後にやむを得ず退園せざるを得ませんでした。

「慣れ親しんだ園舎で大好きな先生やお友達と一緒に過ごしたかった」…そんな子どもたちの思い、かけがえのない時間を犠牲にすることは出来ないと、懲戒解雇された元園長、ストライキ中の保育士・職員、保護者が集まり、自主保育「てつなぎ保育 風の子」を立ち上げました。

集会所などを間借りした臨時の環境ですが「風の子」が50年かけて培ってきた保育を絶やさぬように、地域の支えを受けて活動しています。現在(7月時点)は退園したうち14名が通っており、子どもたちはこの環境にも逞しく適応して毎日のびのびと成長しています。

NPO 法人くにたち農園の会へ ～早期・円満解決のための提案～

▼元園長の懲戒解雇を撤回すること

▼農園の会が運営する認定こども園を移転すること

農園の会の認定こども園がある場所は50年以上前から自治会との信頼関係のもとで「風の子」のために借り受けており、今後も大切なコミュニティの拠点としてあり続けたいと願っています。

しかし、このような現状では、同じ国立富士見台団地で農園の会のこども園と共存することは、物理的にも精神的にも難しい状況です。こども園の園舎は移動可能なトレーラーハウスのため、農園の会と「風の子」がそれぞれの持ち味を生かして地域で活動していけるよう、別の場所への移転を求めます。

50年以上にわたり受け継がれてきた

風の子の全体図

